

2006年から、春は桜花、夏は深緑、秋は紅葉、冬は白雪と、日本の四季の秘湯を 訪ねて、なんと61湯となりました。

## 湯河原温泉 源泉 上野屋

実施日：令和6年5月30日（木）～31日（金）

出発日の数日前からの天気予報では、台風1号、梅雨前線、線状降水帯などの旅行には好ましくない気象用語が用いられていましたので、訪問・見学先も初日に小田原城址公園見学のみに決め、あとは天候と相談しながら決めることにしていました。

幸いにして出発日は、晴れたり曇ったりでした。

初日は、8時50分に新百合ヶ丘駅集合、9時02分発のロマンスカーで小田原へ。座席は6席すべて窓際を確保しました。

9時55分小田原着。小田原城址公園へ。小田原駅から城址公園内へは、城址公園の北入り口から入るのが近かったのですが、路上の案内板が正面入り口から案内していたので、少し遠回りになりましたが、正面入り口から公園へ入りました。馬出門、常盤木門を通り本丸へ。天守閣に登る予定でしたが、エレベーターが無く、地上待機3名、階段での登城3名に分かれました。城内には、江戸時代から現代までの小田原城の歴史などが展示され、天守閣最上階からは、相模湾や市街地を一望出来ました。滞在1時間半程で、北入り口経由、小田原駅へ。駅隣接の食堂街「ミナカ小田原」で昼食。



昼食後、東海道線で湯河原へ。湯河原駅から温泉場方面行き路線バスで10数分。「温泉場中央」下車。約50mで旅館へ。14時頃着。チェックインにはやや早く、荷物を預けて「万葉公園」へ行きました。入口から階段を上り、短い石のトンネルを抜けると2本の滝があり水の落ちる音がとどろき迫力満点でした。約1時間かけて一周し旅館に戻りました。旅館上野屋は、創業 3 百余年を数え、2本の源泉を持つお湯自慢の宿でした。桧風呂と御影石造りの二つの



大浴場、二つの先着順貸し切り露天風呂、天空足湯、がありました。部屋は10畳2部屋。



夕食は18時から。料理は、旬菜盛から水菓子まで10種類、多種、少量で残した人はいなかったようです。お酒はビール中瓶3本と日本酒4合瓶 1本。夕食後、翌日の天候の確認と、訪問・見学先の検討を始めたのですが、早くも睡眠の方もおられ、話が進まず、9時前には全員寢床に入りました。



翌朝は、4～5時頃から大浴場、次いで6時からオープンの露天風呂、さらに天空足湯を利用。朝食までの間に行き先の検討。町立湯河原美術館と福泉寺（首大仏で有名）とを候補にしました。朝食は8時から。夕食同様、多種・少量・美味でした。朝食後の頃から雨は小やみになっ



てきました。全員が美術館のパンフレットを見た所、皆さんが見たいような作品の記載がなく、見学を止めました。

10時に旅館発。路線バスで福泉寺へ。福泉寺の住所は熱海市です。首大仏は、肩から上だ

けで高さ2.5mの珍しい陶製の釈迦像。もとは名古屋城に安置されていたが、戦後、福泉寺に奉納されたとの事です。見学後、再び路線バスで湯河原駅へ。東海道線で小田原へ。11時20分頃小田原着。ここで解散し、すぐに帰りたい人と土産を買う人とに分かれました。小田原から快速急行で新百合ヶ丘に13時頃着。雨は止んでいました。

次回：9月26日（木）～27日（金）

場所：栃木県奥塩原温泉 やまの宿 下藤屋

幹事：中込さん

